

一般社団法人 群馬県防犯設備協会 会長
株式会社 オージーシステム 代表取締役
防犯設備士

関口 信吾



日本防犯設備協会が創立25周年を迎えられるにあたり、歴代の役員様及び事務局ご担当者様、並びに関係各機関の皆様へ長年の防犯への積極的な御取組みとご努力に対し、改めて敬意を表しますと共にお祝い申し上げます。またこの25周年という節目の年に「公益社団法人日本防犯設備協会」へと公益社団法人への移行が出来ました事を重ねて心よりお慶び申し上げます。

私ども「一般社団法人 群馬県防犯設備協会」は昨年・平成22年1月に群馬県において活動する地域協会として新設しました。設立当初は私が代表を務めます株式会社オージーシステム含め、発起人4社での発足ですが一年経過した現在は、防犯設備機器関係を業とする法人正会員17社・防犯設備士の資格を有する個人正会員10名・賛助会員14社・特別会員9団体の計50名となっております。本年度中に、まずは100名の会員になる事を目標に会員増強・組織の強化を図っております。

まだまだ出来たばかりの小さな地域協会ですが、群馬県・群馬県警察本部・財団法人群馬県防犯協会のご協力を頂きながら、日本防犯設備協会事務局のご指導の下一步ずつ歩み出したところです。

昨年は群馬県知事をはじめ、関係各所のご来賓と会員各社が一堂に会し、プレス関係者も含め盛大に創立披露会を開催し、地元TVや新聞で群馬県民に広く創立のご案内をする事が出来ました。また協会ホームページの開設・協会紹介リーフレットの作成を行い、県内各警察署及び各市町村役場の防犯相談窓口にてリーフレットの配置をお願いし、協会の存在と「防犯設備士」資格認定制度の周知・防犯設備充実の必要性を発信しております。

昨年度の実績としましては、群馬県防犯協会・群馬県内の各警察署と連携して4会場での防犯設備機器展示と防犯設備士による防犯相談を行いました。また、群馬県が主催する「ぐんま防犯フェア」に会員各企業の協力を

得て共同出展致しました。

関係各機関との連携調整としましては、群馬県警察本部の依頼による街頭防犯カメラの機種選定・システム検討の参考資料を取り纏め提出、防犯灯についてはメーカー別比較検討資料の作成提出等を行いました。また、各警察署からの依頼に基づき各市町村向け防犯カメラ設置の為に現地調査を随時行いました。また、桐生市からの相談を基に市内全ての公立保育園・幼稚園を対象に会員防犯設備士による現地調査・防犯診断を行い、不足している防犯設備機器の改善提案書を提出致しました。

今年度は群馬県及び県内各市町村・群馬県警察本部及び各警察署・関係各機関の依頼による参考資料の提出・現地調査のご協力は勿論の事、群馬県内の民間企業の施設・マンション・アパート・駐車場・一般住宅に至るまで幅広い分野を対象に、その施設に合った優良な防犯設備のご紹介が出来ます様、会員の協力を基に体制を整えて参ります。

日本防犯設備協会含め業界三団体を中心となって取り組んでおります「防犯優良マンション認定制度」につきましては、既に制度が導入になっております近隣の地域協会の事例を参考にさせて頂き、制度導入に入る為の勉強・準備を今年度から開始する予定でおります。群馬県内には、首都圏に多数建ち並ぶ様な高層マンションは少なく、低層・中層階のマンションが中心となりますが、当協会発足を機会に既存マンションオーナー様・マンション開発業者様等からヒヤリングした結果、防犯優良マンション認定制度に対しての導入要望・期待がある事を感じました。本制度に対してご理解を頂いております群馬県防犯協会のご協力を得ながら、群馬県住宅関連機関との調整を始め、近年中に群馬県での制度導入が出来ます様、調整していきたいと考えております。

発足間もない地域協会ではありますが、群馬県内の関

係各所からは、防犯設備機器についての専門的な知識・情報を持っている公益法人として今後の活動に期待して頂いており、必要に応じて随時協力・連携を頂ける環境にあります。

今後は群馬県警察本部の推進する「安全安心なまちづくり」をテーマに、防犯カメラ・防犯灯をはじめとする優良な各種防犯設備機器・防犯システムの普及促進・充実を通して、犯意を抑止し地域の安全に協力出来る様、協会役員を中心に積極的に活動して参る所存です。その為にもご賛同・ご協力頂ける会員の、より一層の増強・組織強化が急務となっております。

群馬県内には160名余りの防犯設備士の有資格者が在住しており、私もその内の1名となります。また県内各地域に多数の防犯ボランティア団体・組織が活動しております。今後はこれらの皆様と連携協力を取りながら地域防犯に少しでも協力出来ます様、地域に合った防犯啓蒙活動を行っていききたいと考えております。

私としては経営に携わっております事業内容が防犯設備関係であったのがきっかけで、「日本防犯設備協会」という組織の存在を知り「防犯設備士」という資格認定制度を理解し、その必要性と専門知識の習得を期待し、資格取得をしました。

現在は群馬県の地域協会の運営指揮と併せて、日本防犯設備協会の防犯設備士委員会の中で防犯設備士普及促

進担当の一人として、平野委員長の下で全国に「防犯設備士」の必要意義・資格認定制度の周知を図る事と、更には防犯設備士有資格者への最新専門知識の講習・必要情報の発信をどのように行っていくべきか、有資格者の皆様が、より活発に活躍出来るステージをどのように設けるべきかを検討・協議・勉強させて頂いております。

私も全国2万人強の中の1人の防犯設備士です。まだまだ不勉強なところばかりで、優秀な諸先輩方の様な豊富な専門知識も無く、お手伝い出来る様な経験も乏しく、総合防犯設備士の資格も持っていませんが、縁あって防犯設備に関する業務に携わり、折角取った「防犯設備士」という資格を持っているものですから、今後も機会有る毎に勉強させて頂き、いつかはきっと立派な防犯設備士として地域社会に貢献し、少しでも地域防犯のお役に立てます様、精一杯奮闘努力して参ります。

全国の防犯設備士の皆様と連携し、いつか全国のあちこちから防犯設備士の活動があったから「安全な住みやすいまちになったね!」と言われる日が来る事を夢見て、微力ではありますが、コツコツと頑張っていきたいと考えております。

今後の公益社団法人日本防犯設備協会の益々のご発展と、事務局・関係者の皆様、全国の総合防犯設備士・防犯設備士の皆様方のご健勝とご活躍、安全な地域社会の創造を祈念申し上げます。



ぐんま経済新聞・創立披露宴